



2011.4
Vol.129

S  **広報しま**
Shima
笑顔をつなぐ情報誌

シリーズ

稼げる！ 学べる！ 遊べる！

新しい里海の創生をめざして

No.2

前回は、新しい里海概念について説明しましたが、今回は新しい里海を創生していくためには何が必要なのか、そして新しい里海は私たちに何をもたらすのかについて考えてみましょう。

栄養の循環バランスの再生

里海は、その沿岸に暮らす人々の生活や産業の影響を強く受けています。沿岸域にはこうした活動に関わる複雑な権利や利用に関する計画が設定されていますが、それらは必ずしも「里海としての持続的な利用と保全」といった視点を備えているとは言えませんでした。

例えば、河川や海岸の整備では、過去に幾度かの災害を受けた経験から、防災機能に重点が置かれ、生き物の住む場所としての機能は考慮されてきませんでした。また、沿岸で行われている漁業や養殖業でも、魚を捕りすぎたり、限度を超えた養殖を行うことで海を汚してしまったりしてきました。

沿岸域での活動が盛んになり、

陸と海を循環する栄養の量が変化するとともに、生き物によって栄養が循環するシステムが崩れてしまったことで、的矢湾や英虞湾では、生き物が使いきれなくなった栄養がヘドロとなって海底に堆積し、毎年のように赤潮や酸素の欠乏といった問題が起こっています。また、このことが海底にすんでいる生き物をさらに減らすという悪循環に陥っています。

里海を再生する上で、こうした栄養の循環バランスを再生することが必要となっています。そのためには何が必要なのでしょう。



海底に堆積しているヘドロ

総合的沿岸域管理

志摩市の沿岸域を里海として持続的に利用するためには、沿岸域で行われているさまざまな活動を一体として捉え、山から川を通じて海に至る栄養の循環バランスを保全しながら利用するという仕組みを作ることが必要です。

こうした取り組みを「総合的沿岸域管理※1」と呼びます。海外ではこうした考え方が普及しつつありますが、今のところ日本国内で実践されている事例は多くありません。

沿岸海域は海域ごとに地理的、社会的な条件が異なることから、全国一律の手法ではなく、志摩市に適合した管理の手法を確立していく必要があります。

※1 総合的沿岸域管理

沿岸の陸域と海域を一体として捉え、環境の保全と利用のバランスを図るための取り組みのこと。英語では Integrated Coastal Management と呼ばれ、省略して ICM と表記されます。

日本では海洋基本計画の12の目標のひとつとして位置付けられています。

志摩市が合併したことにより、それぞれの海域において旧町単位で行われていた海の利用と保全の取り組みを見直し、総合的沿岸域管理を実践することが可能になりました。

志摩市の沿岸域は、地理的に太平洋、的矢湾、英虞湾と大きく3つの海に分けることができると考えられるので、こうした区域ごとに関係者が集まって持続的な海の利用について話し合い、利用と保全のルールを決めていく必要があります。

また、地域の自然環境や産業を守り、引き継いでいくためには、こうしたバランスを保全することの大切さについて子どもたちにかりと教えていくことも大切です。



新しい里海がもたらすもの

志摩市合併時の市民アンケートでは、「志摩市は自然が豊かで住みやすい」という意見がある一方で「満足できる職場がない」という不満が最も多くなっています。働く場所がないことが志摩市からの労働人口の流出につながっており、地域を維持していくためには、働く場を創出していくことが緊急の課題です。

人口が多く、大量生産・大量消費の経済活動が可能な地域と違い、志摩市のような地方の自治体では地域の特性を活用し、他の自治体との区別を図ることで産業を育成し、働く場を作っていく必要があります。

市民アンケートの主な結果

(志摩市合併時)

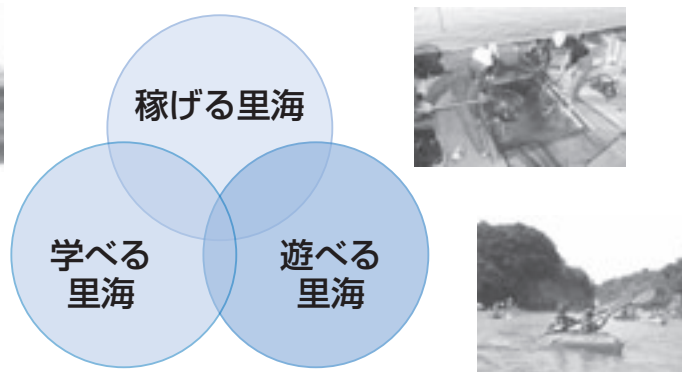
- 志摩市に住みたい理由
 - ・住み慣れた土地 (79%)
 - ・自然環境に恵まれている (70%)
- 志摩市に住み続けたくない理由
 - ・満足できる職場がない (32%)
 - ・買い物が不便 (29%)
- 志摩市が重点的に取り組むべき事
 - ・自然保護・再生の推進 (45%)
 - ・ごみ処理・リサイクルの推進 (44%)

志摩市は市の全域が伊勢志摩国立公園の指定を受けており、豊かな自然環境を生かしたまちづくりが可能です。また、「御食つ国」や「真珠のふるさと」といった歴史など、他の地域と比べても国内外にアピールできる素晴らしい潜在能力がたくさんあります。

「新しい里海」の取り組みは、単に海的环境を再生し、水産業の振興を図るために行うのではなく、志摩市で生産されるさまざまな産物の生産性の向上を図ると同時に、「新しい里海」を、志摩市が持つ潜在能力を象徴する言葉として使用し、志摩市の産物だけでなく地域そのものをブランド化するために取り組むものです。

「志摩市の水産物は豊かな里海で育ったから美味しい」
 「志摩市の真珠は豊かな里海で育つから美しい」
 「市民が一体となって素晴らしい環境が守られている志摩市に行ってみよう」

日本国内だけでなく、世界の人々にこういった志摩市のイメージを作り上げていくことで、これからの志摩市を存続するための基盤作りをしていかなければなりません。



保全の取り組み

志摩市全体を「志摩ブランド」とするためのイメージ作り

具体的に、「稼げる」は、水産

業や観光業などの活性化による働く場の創出を、「学べる」は、沿岸域の環境を保全することの大切さやその手法を理解した人材を育成することを、「遊べる」は自然と触れ合うことで、豊かな人間性を育むことができる地域づくりを表しています。

志摩市では、合併時に想定した以上の速さで少子高齢化が進んでいます。私たちの子どもや孫の世代に、豊かで住みやすい志摩市を伝えていくために、市民と行政、各種団体が一体となった取り組みが必要となっています。



次回からは、「新しい里海」の創生に向けた具体的な取り組みについて紹介していきます。

的矢湾の海を知ろう！

～ アマモ場の再生事業へ参加して～

的矢中学校 1 年生

担任 山崎長敏 橋爪美恵子

昨年 5 月、鳥羽磯部漁協三ヶ所支所へ体験学習の一環として「生徒に的矢の海の楽しさを体験させたいのですが」と相談に行ったところ、「今の的矢湾は汚れ、漁業もかなり難しいところにさしかかっている。そのために昨年からアマモ場の再生事業に漁業者が取り組んでいる。」という話を聞きました。また、三ヶ所支所の支所長さんから「私たちは漁業のことも心配ですが、この的矢湾を未来の子どもたちに豊かな海として残していきたい。そのための事業がアマモ場の再生事業なのです。」と聞き、「1 年生 9 人の力ではありますが、少しでも手伝わさせていただけないか。」とお願いしましたところ、生徒たちの参加を快諾してくれました。

5 月中旬からアマモ採集用の自作の道具をつくり、6 月初旬の作業の準備に取りかかりました。生徒は初めての体験で、その日を楽しみに着々と、そして自分なりに工夫を凝らし準備を行いました。

6 月 8 日、作業には多くの漁業者の方、20 隻ちかい漁船、そして中学生 9 人、アマモの採取作業が始まりました。みんな汗をかき、海水に濡れながら一生懸命に取り組み、たくさん種の付いたアマモを取ることができ、生徒も満足げな顔をして作業を終えることができました。

7 月はアマモの種の追熟作業や種の選別作業、9 月～11 月にかけては、種を保管するための海水取り替え作業と続きました。お昼休みを使い、アマモの種の 1 粒も無駄にしないよう当番を決め、それぞれが頑張りました。

12 月 10 日、最後の作業であるアマモの種まき作業の日が来ました。生徒は約半年間、アマモの成長を願い、いろいろな作業に取り組み、ようやくアマモの種を海にまく日が来ました。種がうまく発芽、成長するように工夫して、種まき作業にも真剣に取り組んでいました。そして作った仕掛けを持って漁船に乗り、種まき作業がすべて完了しました。

昨年の 5 月から始まったアマモの再生事業への参加は生徒の心に深く残り、普段の学校生活では見ることでできない『すごく充実した顔』に出会うことができました。何よりも「将来の子どもに豊かな海を残そう」とする方々の熱い想いに触れられたこと、言葉ではなく肌で感じることでできたことは、生徒の成長に有形・無形の形で大きく影響していくと感じます。『1 粒の種も無駄にしたくない』『アマモが成長してほしい』『きれいな海になって魚がたくさん捕れるようになってほしい』『アマモだけではなく、海をきれいにするにはどうすればいいのだろう』・・・等々。

生徒の心に多くのものを残してくれた方々、本当にありがとうございました。そして、この活動が志摩市全域、志摩市住民に広がり、豊かな海の再生が実現することを的矢中学校 1 年生は願っています。



単独処理浄化槽の撤去 費用に補助を行います

現在ご家庭で使用している単独処理浄化槽（し尿のみを処理する浄化槽）を撤去・処分し、合併処理浄化槽に転換される人に、その撤去に必要な費用に対し補助（上限額9万円）を行います。

補助対象者

志摩市浄化槽設置整備事業補助対象者で、既設の単独処理浄化槽を撤去・処分し、同時に撤去跡地などに合併処理浄化槽（高度処理

型に限る）を設置される人。

補助金額

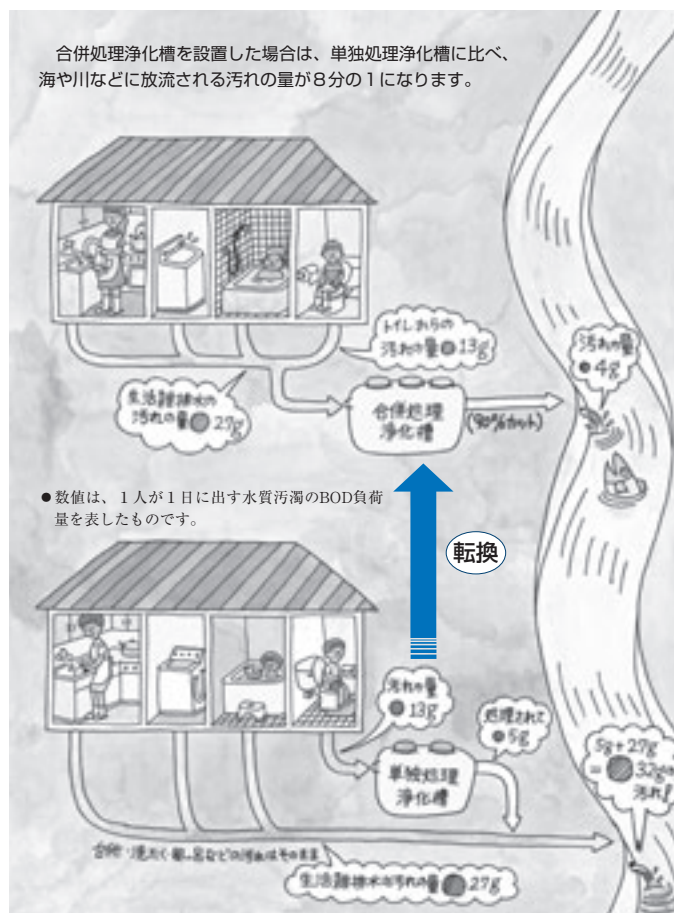
上限額9万円と撤去に要する費用を比較して少ないほうの額となります。ただし、補助金額に千円未満の端数が生じた場合は切り捨てとなります。

補助を受けるには

単独処理浄化槽の撤去工事開始（着手）前までに、補助金の交付申請を行ってください。※工事を開始（着手）した後では受付できませんのでご注意ください。

環境課

44・0228
44・5261



平成23年4月に

子育て支援センター

『わくわくの森』

オープンします

長らくご利用いただきました阿児子育て支援センターが、平成23年3月末をもって終了いたしました。4月からは、子育て支援センター『わくわくの森』がオープンしましたので、ご利用ください。

センター概要

運営主体

社会福祉法人 洗心福祉会

名称 子育て支援センター

住所 所 阿児町神明878番地78

志摩総合ケアセンター

シルバーケア豊寿園内

（しまの杜保育園 隣接）

電話 44・1117

利用開始日 4月4日（月）

開放日時 月曜日～金曜日

9時～11時30分

13時～15時30分

休 み 土曜日、日曜日、祝日、

年末年始

センターの方針

「親子で楽しんでいただけること」

センターの特色

平成23年4月に開園の「しまの杜保育園」に隣接し、センターの窓からは日本庭園を望む木々に囲まれた自然豊かなところです。親子で一緒に楽しんでいただけ場所として、また親子それぞれの交流の場所としてご利用いただけます。保育士は交流の中で親子の楽しいエピソードをお聞きしたり、育児相談に関するアドバイスをさせていただきます。センターのネーミング通り「わくわく」していただける場所にしていきたいと思っています。



志摩市と郡上市が 友好都市協定を結びます!

◆調印までの経緯

郡上市との友好の歴史は、23 年前、郡上郡白鳥町と志摩町の青年婦人連絡協議会等の交流がきっかけとなり、昭和 62 年に両町は友好町の調印を行いました。その後、小学生の体験交流やイベントでの特産物販売などを通じて各種団体の間で交流があり、平成 16 年の志摩市合併後も交流が続けられています。

また、郡上郡明宝村と大王町も、中学生同士が、夏は大王町の野外活動センターや浜辺でキャンプや水泳を、冬は明宝村でスキー体験を通じた交流が盛んに行われていました。

このような経緯を踏まえて、それぞれが志摩市、郡上市となった今、交流を通じて両市の活性化と発展をめざして、友好都市協定が結ばれることになりました。調印式は 6 月 30 日に志摩市内において行う予定です。



スキー場



郡上鮎



郡上おどり

◆郡上市の概要

郡上市は、岐阜県のほぼ中央に位置し、下呂市や高山市に接しています。地勢は最低海拔地の美並町木尾が 110m、最高海拔地の白鳥町銚子ヶ峰が 1,180m と高低差が大きく、長良川源流部にあたる高鷲町の大日山麓一帯にはひるがの高原・上野高原が、明宝水沢上一帯にはめいほう高原が広がっており、雄大な自然に囲まれています。さらに、長良川をはじめとする一級河川が 24 本あり、美しく豊かな水に恵まれた都市です。このような豊かな水、多面的な気候を活かし、食味が自慢の米の栽培、ひるがの高原大根、奥美濃夏秋トマトなどに代表される園芸作物の生産や、飛騨牛ブランドの畜産などの農業が盛んに行われています。観光では、夏には日本三大民謡の一つである「郡上おどり」や、ブランド「郡上鮎」で知られる鮎釣りで賑わい、冬には市内 12 のスキー場が営業し、年間 620 万人の観光客が訪れます。

◆今後の交流について

道の駅などへの出店や、ふるさとの祭を通して人と人とが繋がっていく人的交流、『海』と『山』の魅力ある自然体験プログラムで、集客を兼ねた交流などに取り組んでいきます。また、教育の分野においても青少年育成に視点を置いた交流を行うなど、両市の間で各分野にまたがり交流を推進していきます。

参 考 【郡上市ホームページ】 <http://www.city.gujo.gifu.jp/>
問い合わせ 企画政策課 ☎ 44・0205 FAX 44・5252

志摩市 絵かきの町・大王

美術ギャラリー開館!!

大王支所の2階・3階を活用し、「志摩市絵かきの町・大王美術ギャラリー」として開館します。

市所有絵画を展示するほか、3階部分を志摩市出身の洋画家「平賀亀祐」の記念館として常設展示します。



開館式典

観覧
無料

4月23日(土)

10時～(開館式典)、13時～(『市民対象』内覧会)

『市民対象』内覧会

観覧
無料

4月24日(日)～27日(水)

9時～17時(最終入館は16時30分)

※期間中は、休館日(火・水)も開館します
※一般公開(有料)は、29日からとなります。

施設案内

- 開館時間 9時～17時
(最終入館は16時30分)
- 休館日 火曜日・水曜日(祝日を除く)
年末年始(12/28～1/4)
- 観覧料 一般 200円
高校生、大学生 100円
中学生以下 無料

問い合わせ

美術ギャラリー ☎ 72・4336 FAX 72・4317

展示内容

- 2階【企画展】ギャラリー(展示室)
—— 大王大賞展優秀作品展など
- 3階【常設展】
—— 平賀亀祐記念館

※貸しギャラリー(貸館)

2階ギャラリー(展示室)は、貸館(有料)ができますので、詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ

志摩市民病院

FAX ☎
72 73
・ 8
5 8
5 7
6 7

※詳しくは、志摩市民病院に問い合わせください。

支給期間に2年を加算した期間、市の看護師として勤務

■支給額

年額60万円(月額5万円)

■募集人員

2人以内

○看護大学進学予定者および在学中の者

○現在看護学校在学中の者

○2年課程および3年課程の残期間

○准看護師免許取得後に看護学校2年課程および3年課程進学予定者

○3年間

○高校卒業後看護学校3年課程進学予定者

○3年間

■応募資格対象者と奨学金支給期間

○看護師を目指す人材の育成を目的に看護師養成奨学生を募集します。

看護師養成奨学生の募集

当院は、新しい医師を迎え、職員一同、心を新たに、なお一層力を合わせて地域医療に貢献していきます。



ハンズリー 範江 医師(内科)

4月から新しく志摩市出身の内科医師・ハンズリー 範江先生が着任しました。

志摩市民病院医師着任のお知らせ

東海地震

平成23年3月24日から、「東海地震に関連する情報」の名称の一部が変更されています。

「東海地震に関連する情報」について

東海地震は、予知の可能性のある唯一の地震です。

気象庁では、東海地域に設置している観測機器のデータを常時監視しており、通常とは異なる変化が観測された場合、東海地震に関連する情報を「東海地震観測情報」、「東海地震注意情報」、「東海地震予知情報」の3つの区分で発表することとしています。

平成21年8月の駿河湾の地震の際、「東海地震観測情報」が発表されましたが、東海地震が発生したときの情報と誤解されるなど問題があったことから、「東海地震に関連する調査情報」に変更されることになりました。

名称変更に伴う防災対応は、従来と変わりありません。

今回の変更点について

①現在の「東海地震観測情報」は、「東海地震に関連する調査情報（臨時）」となります。

②加えて、住民の方々が平時からこの名称の情報に接する機会を増やすことが重要であるという観点から、最近の地震活動に関する評価結果が「東海地震に関連する調査情報（定例）」として毎月発表されます。



鳥羽警察署(新庁舎)の業務(供用)開始日のご連絡

鳥羽警察署につきましては、現在、新築工事を行っておりますが、今春、庁舎が完成し、業務(供用)を開始する予定をしておりますのでご連絡いたします。

現在の所在地から移転となりますので、運転免許更新の手続きなど鳥羽警察署にお越しの際は、お間違えのないようにお願いします。

1 業務(供用)開始予定月日・時間

5月2日(月)

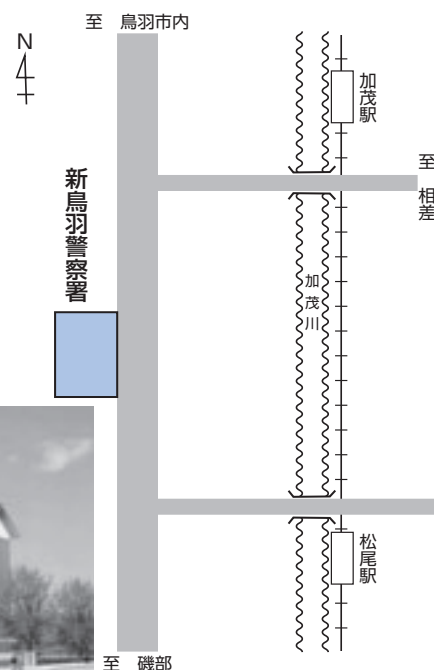
8時30分

2 新庁舎の所在地

〒517-0042

鳥羽市松尾町74番地4

☎(0599) 25・0110



アナログ放送終了まで あと4か月を切りました！

アナログ放送は、7月24日正午からブルーバックの「お知らせ画面」に移行し、24時までにはすべての放送が終了（完全停波）します。したがって、それまでの間に地上デジタル放送を視聴するための準備をしないと、テレビを見ることができなくなります。

地上デジタル放送を視聴するためには、地上デジタル放送対応の受信機とUHFアンテナが必要です。受信機は、新たにデジタルテレビを購入するほか、アナログテレビに地上デジタルテレビ用チューナーを取り付ける方法もあります。UHFアンテナは、新たに設置・調整等が必要な場合があります。その他、ケーブルテレビに加入することにより視聴する方法もあります。また、共同アンテナ施設でテレビをご覧の人は、デジタル化のための施設改修が必要です。

7月24日のアナログ放送終了時期が近づくに従い、アンテナの設置・調整等の工事が集中し、同日までに間に合わなくなる可能性がありますので、できる限り早めの対応をお願いします。

これらの地デジの準備にあたり、「何をすればよいかわからない」という人や「テレビを買ったのにデジタル放送を受信できない」という人には、デジサポ（総務省テレビ受信者支援センター）がお手伝いしますので、まずはデジサポにお電話ください。

経済的な理由等で地上デジタル放送に対応できない世帯（市町村民税非課税の世帯など）に対しては、簡易チューナーの無償給付などの支援も行っています。くわしくは、総務省地デジチューナー支援実施センターまでお問い合わせください。なお、BSアナログ放送も7月24日に終了しますので、BSデジタル放送へ移行をお願いします。

《一般的な問い合わせ》

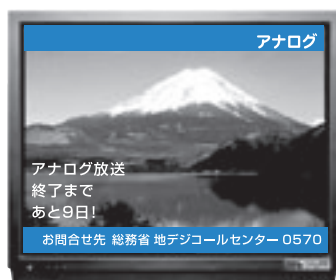
- デジサポ（総務省 テレビ受信者支援センター）  <http://digisuppo.jp/>
デジサポ三重  (059) 993・5511

《支援制度の問い合わせ》

- 総務省 地デジチューナー支援実施センター  <http://www.chidejishien.jp/>
NHK放送受信料全額免除世帯への支援  0570・033840  (044) 966・8719
市町村民税非課税世帯への支援  0570・023724  (043) 302・0284

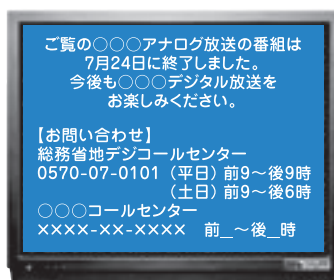
【アナログテレビ放送終了までの画面イメージ】（実際の放送画面については別途検討されます）

7月1日以降



通常番組の画面上に終了日までの
カウントダウン等を表示します。
定期的に、全画面スーパーや
ブルーバック等の「お知らせ画面」が
短時間挿入されます。

7月24日正午以降



7月24日正午から
ブルーバックの
お知らせ画面を表示します。
24時までに停波します。

停波後



7月24日24時までに
停波し、
この後は、映りません。



東北地方太平洋沖地震

東北地方太平洋沖地震で被災した方々に心からお見舞いと激励を申し上げます。

本当に今回の震災は、私たちにとって決して他人事ではなく、また市民の生命と財産を守る立場の者として被災地の方々に赤心から心もご苦労も同調して、ご支援と激励をしたいと思います。またこの様な未曾有な津波被害、地震被害の悲惨な有様をニュース等で見まして、被災地の方々の引き裂かれるような心痛と、無幸で献身的な救助活動に胸痛く目がしら熱いほどの震えを感じます。いまさらながらに心を強く強く引き締め、志摩市の災害対策・防災対策に取



市長コラム

Vol.28

り組む事を痛感させられました。

志摩市では今回、津波注意報が発表された瞬間から、志摩市災害対策本部体制基準に従って、警戒体制で市長を本部長とした部長級以上の職員、調整監、配備派遣要員および準備体制で定める職員、約30名が市役所内に対策本部を置き、避難所の開設、情報の収集と防災に向けての活動を消防団の皆様と共に始めました。今回の東北地方太平洋沖地震も津波注意報発表に同じくして14時50分にこの体制をとり、そして、注意報が津波警報になった、15時31分に今度は非常体制という事で、職員約443名と消防団、関係者など各町ごとに避難所の維持と防災の備えと市内見回りなど情報収集と現場の活動に入りました。警報発表中は24時間体制で市役所・各支所・避難所・消防団詰所で救助活動に対応しました。この体制は警報、注意報が解除されるまで続きました。

この津波では志摩市では384人が避難をしました。この津波による沿岸域・英虞湾・的矢湾での漁業被害は大きかったものの、けが人が一人も出なかったのが不幸中の幸いでした。でも沿岸域・各

湾内の津波が発生している中、陸岸では何事も無く良かったのですが、そのことで漁業者以外の方々には今一つ危機感が希薄に感じられました。

市民の皆様にはいつ来るかわからない東海・東南海地震に備えての訓練と防災知識の啓発が10年以上も続く中、訓練が毎回同じことの繰り返しに思え、津波への備えがまるで狼少年のお話みたいになっていかなかったでしょうか。辛いことですが、今回の東北地方太平洋沖地震を現実の教訓として、今一度、津波と地震の怖さと残酷さに心を傾けていただき、近い将来に発生するといわれている東海・東南海地震と津波に備えていただきたいと思います。それともう一つ東北地方太平洋沖地震の中で見るように、家族の安否確認の方法と家族の連絡方法については各家庭で日常から話合っていただきたいと思っています。

志摩市長 大口秀和

～ 志摩市休日夜間応急診療所 ～

場所 県志摩庁舎 2 階

電話番号 43・5899

診療科目 内科・小児科

診療時間

□印の日は夜間

19時30分～22時

○印の日は昼間(日曜・祝日診療の日)

9時30分～12時30分

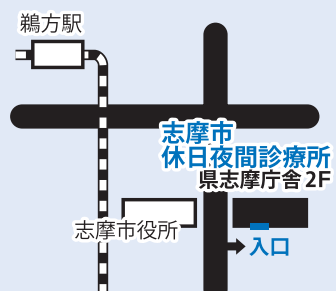
13時30分～16時30分

4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月

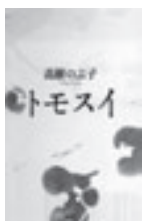
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14



※県志摩庁舎正面玄関前駐車場は使用できませんので、庁舎南側駐車場をご利用ください。

図書館だより

新しく入った本を紹介します（★は児童書です）



トモスイ

たかぎ こ 高樹のぶ子／著【小説】

台湾の小さな島、上海の路地裏、モンゴルの荒野…。それぞれの土地に息づく瑞々しい匂いとやるせない思いを吸い込んだ、アジアをめぐる短篇集。



知って楽しい身近な？

ニュートンプレス／出版【科学】

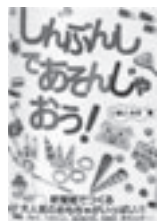
肩こりの正体は？ゴキブリを退治するコツは？胃腸薬のえらび方は？からだ・食べ物・生き物・暮らしに関する「もの」や「現象」を科学的に説明する。



野菜を干せば、こんなにおいしい！

おだ まき こ 小田真規子／著【料理】

干すことでうまみが凝縮され、驚きのおいしさに！電子レンジで作るカンタン干し野菜、ベランダや窓辺で作る本格干し野菜、干し野菜を使った料理を紹介。



★しんぶんしであそんじゃおう！

いまいみさ／著【工作】

けん玉、金魚すくい、輪投げ、変身ベルト、モグラたたきなど、身近にある新聞紙で簡単につくれる、子どもたちに大人気のおもちゃやゲームの道具を紹介。



★いちねんせいがあるきます！

きたがわ 北川チハル／作【よみもの】

まおは1年生。学校までちゃんと歩いていけるかな？心配していると、迷子の1年生たちがつぎつぎやってきて、いっしょに学校に行くことになりましたが…。



★みてよびかぴかランドセル

にしまきかよ 西巻茅子／絵【絵本】

ランドセルを買ってもらったかこちゃん、きつねのこ、うさぎのこに見せました。ふたりとも「いいなあ」と言うので、ランドセルを背負わせてあげると…。

イベント案内 ※4月16日～5月7日までのイベントをご案内します

館室名	と き	内 容
市立	4月25日(月)11時～	おはなし会(赤ちゃんむけ)
	5月7日(土)11時～	おはなし会
志摩	4月23日(土)14時30分～	よみきかせかい
	5月4日(水)11時～	よみきかせかい(赤ちゃんむけ)
磯部	4月16日(土)13時30分～	古文書学習会

カレンダー (4月10日～5月14日まで)

日	月	火	水	木	金	土
4/10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
5/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14

●市立図書館休み ▲志摩・磯部休み
■市立・志摩・磯部休み

むかしばなし ⑭ 初根姫(初音姫とも言われています)

初根姫のことを、波切の人は「初根さん」と親しみを込めて話します。初根さんは、ご大家の生まれだったようで、衣替えのとき緞子(どんす)の着物などを切り一面に干していたと言われています。

初根さんは生まれつき器量良しで、利発でおとなしい上品な娘でした。成長するに従い、その美しさに一段と磨きがかかっていたそうです。となると噂が噂を呼び、波切中はもちろん近郷近在にも知れ渡っていききました。

やがて年頃になった姫に、あちこちの若殿様から結婚の申し込みが殺到してきました。ついに父親は結婚相手を選び、嫁ぐよう申しわたしましたが、心根の優しい初根さんは困惑してしまいました。心に決めた相手があったのです。とても父親の言うとおりにできませんでした。

ある夜、恋しい人の所を目指して初根さんは家を抜け出しました。しかしながら途中で親に見つかって連れ戻され、家に閉じ込められてしまいました。思い悩んだ初根さんは、とうとう深い穴に身を投げて死んでしまいました。初根さんが最後に残した言葉は、「なまじ、女は美しく生まれてくるものではない」でした。

そのような事があってから、どれ程の年月が経ったかわかりません。波切の女性たちの間では、「波切に美人が生まれ、私のように悩まなくてもよいように、七生念じてやります」と言ったのだと言い伝えられています。今でも波切の女性たちは事あるごとに、「初根さんのお告げで波切には美人がいない」と実(まこと)しゃかに言います。けれども決して信じているわけではありません。女性たちの間では何かの折に、必ずといってよいほど初根さんの事を話題にしているのです。

〔大王町再発見より〕



県広報コンクール 写真部門(組み写真) 広報しま8月号が特選

平成22年1月～12月までに発行した広報紙を対象に「平成22年度県広報コンクール」の審査の結果 写真部門(組み写真)で特選に選ばれました。



三重県観光交流会

2月15日

関西圏のメディアや旅行会社に三重県の観光情報を提供する記者発表会・交流会がシェラトン都ホテル大阪にて開催されました。県内各地のマスコットキャラクターが勢ぞろいする中、志摩市も市長自らが伊勢えびコロッケやおさと貝柱の天ぷらなどを振る舞い、海の幸とともに観光情報をアピールしました。

パエリャコンクール

2月19日

志摩スペイン村で「第13回パエリャコンクール in 志摩」が開催され、市内外からたくさんのチームが参加しました。ウサギや海女の衣装で参加するチームもあり、会場を盛り上げながら、志摩の旬な食材を使ったパエリャの出来を競っていました。



くらしの中のひな人形

2月18日～3月13日

磯部郷土資料館で、「くらしの中のひな人形展」が開催され、市民の人々から寄贈された江戸時代後期から昭和50年代までのひな人形14組や様々な手作りのひな人形が展示されました。会期中は、市内外からも多くの見学者があり「お雛さまがとってもきれいでみとれてしまいました」などの声が寄せられました。



災害に強い地域社会を！ ～自主防災組織育成助成事業

間崎自治会では、(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業により、防災資機材(消火器・ポリタンク・AED等)を宝くじの助成金で整備しました。この事業は、同センターが宝くじの普及広報事業の一環として、コミュニティ活動に助成を行うものであります。今回の整備により、被災時の自主防災活動と地域住民の防災意識向上が期待されます。



里海シンポジウム

2月20日

志摩の海を活かしたまちづくりについて考えるシンポジウム「海とともに生きる志摩市」が、阿兄アリーナで開催されました。漁業関係者による藻場再生や三重県水産研究所が進める水門開放による干潟機能再生、英虞湾の健康診断など、市内の沿岸域の現状についての講演が行われました。また、講演を踏まえたパネルディスカッションでは、里海創生に向けたこれからの志摩市の取り組みについて、たくさんの意見交換が行われました。



東海小学生バレーボール 新人大会壮行会 2月21日

2月26日・27日に開催された「東海小学生バレーボール新人大会」へ出場する「志摩ジュニア」の壮行会を市役所で行いました。





美し国三重市町対抗駅伝

2月20日

「美し国三重市町対抗駅伝」が開催されました。志摩市の代表選手たちも、沿道からの声援を受けて、最後まであきらめずにタスキをつなぎ、県庁から伊勢市の県営総合競技場までの42.195キロ（10区間）を駆け抜けました。



的矢かき感謝祭 朝市

2月27日

三重ブランドの「的矢かき」に感謝する、かきの感謝祭が、的矢駐車で行われました。殻付きかきの詰め放題やかきフライ、シェルガキなどの格安販売が行われ、シーカヤック体験の協賛イベントもあり大勢の人で賑わいました。

新撰組 祭

2月27日

毎年恒例の志摩新撰組の祭が、志摩文化会館で開催されました。住民が集う場をつくり、地域を元気にしたいとの思いから始まったイベントは、今では市内外からたくさんの方が訪れます。今年も、歌、踊りなどのステージや模擬店の出店に、大勢の人で賑わっていました。



里山管理の講演会を開催

3月9日

横山ビジターセンターでは、速水林業代表の速水亨さんを迎えて、「里と海をつなぐ里山管理」というテーマで、講演会を開催され約50人が参加しました。



防火週間 志島パレード

3月1日

春の防火週間に合わせ、阿児町防火協会や志島自治会などが、「防災意識を高め火災を防ごう」と志島地区内で防火パレードを行いました。志島保育所の園児たちも拍子木をたたき、元気よくパレードしました。



アマモ場再生取り組み

2月17日

志摩市の的矢湾と鳥羽市の生浦湾で、アマモ場保全・再生活動に取り組む漁業者と、同活動に協力している的矢中学校・鏡浦中学校との交流会が、海の博物館で開催されました。情報交換を通じ、お互いの意識を高めながら、今後の活動につながる報告会となりました。



出合い ふたたび

2月28日

平成の駆け込み寺「浄土宗 西居院」の第21代住職の廣中邦充さんを講師に迎え、「Again 出合い ふたたび」と題した人権教育講演会が阿児アリーナで開催されました。悩みを抱える思春期の子どもたちとの共同生活など、具体的なエピソードを交えたわかりやすい講演は、参加者にたくさんの元気を与えていました。

事業	とき		ところ
育児サークル こえびちゃん	毎週 火・木・土	10時～11時30分	浜島生涯学習センター ☎53・1511
育児サークル わらじっこ	毎週 火・金	9時30分～ 11時30分	大王第三保育所 ☎72・2264
園庭・遊戯室 開 放	毎週水曜	9時～11時	浜島保育所 ☎53・1220
	毎週火曜	4月の第1・2火曜日はお休みです。 4月の第3火曜日より始めます。 9時～11時30分	大王第三保育所 ☎72・2264
	4月はお休みです。 5月より始めます。		船越保育所 ☎72・2363
			志島保育所 ☎45・2215
園庭開放	毎週水曜	9時30分～ 11時30分	布施田保育所 ☎85・4904
	毎週 月～金	10時～12時	和具保育所 ☎85・3217
	4月はお休みです。 5月より始めます。		ひのでが丘保育所 ☎55・0577
			ひまわり保育所 ☎55・0177
			下之郷保育所 ☎55・2347

※ 鵜方児童館での『ぼっかぽか広場』、大王保健センターでの『おしゃべり広場』は3月をもって終了いたしました。

志摩子育て支援センター ☎85・0940

事業	とき	
育児相談	毎週月～金	9時～12時 13時～16時
子育てサロン		9時～12時 13時～15時

子育て支援センター わくわくの森 ☎44・1117

事業	とき	
センター開放	毎週月～金	9時～11時30分 13時～15時30分
育児相談		
園庭開放		

磯部子育て支援センター ☎55・1741

事業	とき	
育児相談	毎週月～金	9時～12時 13時～16時
子育てサロン		9時～12時 13時～15時
ひよこクラブ (0・1歳)	26日(火)	10時～12時
ひよこクラブ (2歳以上)	28日(木)	

※ いずれの事業も開催日が祝日の場合はお休みです。
※ 子育て支援センター わくわくの森は、4月4日(月)より始めます。

じんけんコーナー ④

意識調査から 「格差・貧困を考える」

生涯学習人権教育課

☎44・0339
FAX 44・5263

昨年八月、第二回目の「人権問題に関する市民意識調査」を実施しました。現在、調査結果の分析と考察をしています。結果報告は、後ほど広報や報告書を通じて皆さんに公表させていただきますが、今回はその中の一部をとりあげて紹介します。

市民の皆さんの『現在の生活(経済状況)』をお聞きしました。
「満足している」と回答した人は56%、同様に「満足していない」と回答した人は44%でした。回答者の半数近くの人が、現在の生活状況に何らかの不满を持っていることが見えてきます。

自分の生活(経済状況)の満足度は、年代別で著しく異なるようです。

勤労世代である20歳代から50歳代までの回答者の半数、高齢者の3人に1人が生活に経済的な余裕がもてないでいることが分かります。注目すべきは子育て真っ最中、勤労世代40歳代の回答者3人に2人が「満足していない」を選択していることです。

生活(経済状況)に「満足していない」と回答した人の理由をお聞きました。

その内、34%の人が将来に不安を感じており、満足していないが自分より厳しい人もいるので現状を受け止めざるを得ないと考える人が8%、経済的に苦しく生活に余裕をもてないと回答した人が53%でした。

若い世代の人ほど将来に不安を感じているとの回答が多く、40歳代までの半数の人が、「少し不安である」と回答しています。また、20歳以上の半数の人は収入が少なく生活苦であると回答しています。「不満はあるが現状を受け止めざるを得ない」という回答が減り、はつきりと生活苦と将来への不安を訴える回答が増えたと言えます。

私達の貧困や格差に対するとらえ方は様々あります。また、世間意識の中には、「格差」や「貧困」は自己責任で回収するといった風潮が根強くあります。しかし、「健康で食べる物さえあればあとは自分の努力次第で何とかなる。」といった考え方は、調査結果でも読み取れますように、そろそろ限界に達しているようです。

大人の社会で格差・貧困が存在すれば、必然的に子どもにも格差・貧困が生じることが懸念されるところです。

越賀保育所の休所について

越賀保育所は、平成 23 年 3 月末をもって、休所します。

越賀保育所についての問い合わせは、次のとおりお願いします。

問い合わせ

子育て支援課 ☎ 44・0282

志摩市ファミリー・サポート・センターの事務所の移転

移転日 4月1日（金）

移転場所 市役所 子育て支援課内

☎ FAX 44・0892

庁舎内壁面等地図広告掲出者を募集します！

総務課 ☎ 44・0201
FAX 44・5252

市役所本庁舎および各支所内の壁面等に市内公共施設の地図情報を付帯した看板を取り付け、広告物の掲出を行っていただける広告掲出者を 1 者募集します。

広告掲出者は、広告主の募集、地図広告の製作及び更新など地図広告の管理運営をしていただき、市に広告料金を納付していただきます。

募集期限 4月18日（月）
17時必着

その他、詳しいことは市役所総務課まで問い合わせください。



緑の募金にご協力をお願いします

市緑化推進委員会（事務局）農林課内

☎ 44・0288 FAX 44・5262

春季緑の募金を 5 月 31 日まで実施します。この募金は、私たちが将来にわたって緑豊かで潤いのある生活が送れるように、国民一人ひとりが森林・緑づくりに参加していただくことを目的としています。

お寄せいただいた募金は、地球の温暖化や洪水を防止するための植林・里山の手入れや間伐などの森林整備・森林ボランティア育成などの助成に役立てられます。この趣旨をご理解いただき、緑の募金にご協力をお願いいたします。

平成23年「県民の日」記念事業

海ほおずき ☎ 53・1002

「郷土の歴史を知り、自治の意識を高める」といった「県民の日」を記念し下記施設の体験料が無料になります。

と き 4月16日（土）

ところ 磯体験施設 海ほおずき

内容 わんぱく磯の浅磯漁業体験料
小学生以上 700 円 → 無料
3 歳以上小学生未満 200 円 → 無料

MR予防接種（麻しん・風しん）のお知らせ

総合保健センター

☎ 44・1100

今年度の MR 2・3・4 期の予防接種対象者は次のとおりです。市からの個別通知が届きましたら、予約票を持って、協力医療機関で、できるだけ早めに接種をすませておきましょう。

第2期対象者

平成 17 年 4 月 2 日～

平成 18 年 4 月 1 日

第3期対象者（中学 1 年生相当）

平成 10 年 4 月 2 日～

平成 11 年 4 月 1 日

第4期対象者（高校 3 年生相当）

平成 5 年 4 月 2 日～

平成 6 年 4 月 1 日

※接種期限（平成 24 年 3 月末）を過ぎると、接種費用は自己負担になります。



お詫び 課税課 ☎ 44・0211 FAX 44・5260

広報しま 3 月号に掲載した 13 ページの記事に誤りがありましたので、訂正してお詫びします。

（誤）■療育手帳の交付を受けている人（家族運転のみ）

精神障がい 1 級（通院医療費番号の記載されたものに限り）

■精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人（家族運転のみ）

知的障がい A（重度・最重度）

（正）■療育手帳の交付を受けている人（家族運転のみ）

知的障がい A（重度・最重度）

■精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人（家族運転のみ）

精神障がい 1 級（通院医療費番号の記載されたものに限り）



ゆるボラ第5弾！

みんなで健康！爽快ゆるボラ in 志摩パークゴルフ場

市民活動支援センター「あすぱ～る」
☎ 43・7744（火・水曜日休館）

ボランティア活動の輪をひろげるきっかけづくりとして、気軽に参加していただける「ゆるボラ（ゆるやかなボランティア活動）」を実施します。第5弾は新緑の志摩パークゴルフ場を会場に、雑草取りや花植えなど「ゆる～く」できるボランティアが盛りだくさん！

みんなで爽快地にボランティアをして、健康になりましょう！

と き 5月15日（日）9時～12時

ところ 志摩パークゴルフ場

内 容 ・雑草取り、花植えなどのボランティア活動
・お楽しみ交流会（パークゴルフ体験など）

申込先

市民活動支援センター「あすぱ～る」へ事前にお申し込みください。

✉ asu-pearl@sl.city.shima.mie.jp
「あすぱ～る」ブログ更新中！

🌐 <http://blog.canpan.info/shima0nsc/>

申込締切 5月9日（月）



柿の接木講習会の開催

農林課 ☎ 44・0288 FAX 44・5262

と き 4月19日（火）13時30分～

ところ 市役所4F 401会議室

対 象 志摩市在中の柿の栽培に興味のある人

内 容 接木の実習・栽培講習

国家公務員募集

人事院中部事務局

☎ (052) 961・6838

FAX (052) 961・0069

人事院は、平成23年度に次の採用試験を行います。受験案内・受験申込書は郵便でも請求できます。くわしくは人事院中部事務局にお問い合わせください。

受付期間

I種 4月1日（金）～8日（金）

II種 4月11日（月）～20日（水）

III種 6月21日（火）～28日（火）

受験案内等の配布開始日

I種、II種 2月1日（火）

III種 5月9日（月）

※I種試験・II種試験においては、インターネット申し込みが可能です。利用環境にある人は、できる限りインターネット申込みをしてください。

しま市民活動フェスタ2011

出展者募集

志摩市社会福祉協議会 本所

☎ 44・3330

FAX 44・3331

と き 6月26日（日）
10時～15時30分

ところ 阿児アリーナ

出展料 無料

出展対象 市内で社会貢献活動を行っている人（団体）

募集内容

①活動体験ブース

②展示ブースなど

申込締切 4月28日（木）

17時必着【先着順】

備 考 詳細は志摩市社協ホームページまたは最寄りの志摩市社協までお問い合わせください。

志摩広域消防組合からのお知らせ

志摩広域消防本部 ☎ 43・1418

FAX 43・0499

平成23年度前期危険物取扱者試験

試験日 6月12日（日）

試験場所 伊勢会場 伊勢市観光文化会館（乙4・丙種）

願書受付期間

4月14日（木）～25日（月）

※電子申請の場合は、4月11日（月）

9時から4月22日（金）17時まで

その他 県下の他会場でも試験が実施されます。

各試験願書提出先

（財）消防試験研究センター三重県支部

※各試験の願書は、志摩消防署または各分署にあります。

平成23年度前期危険物取扱者試験に伴う予備講習会

講習日時 5月11日（水）

9時～16時30分

場 所 志摩広域消防組合消防本部
3階会議室

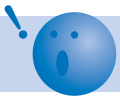
対象区分 乙種第4類

申込期限 5月6日（金）

申込先 志摩消防署または各分署

受講料 一般 2,000円
組合管内防火協会会員
1,000円

テキスト代 別途必要



市有地の売却を行います(公募)

広報しま 1 月号で掲載しました次の物件について、4 月から随時募集を行います。

物件番号：1	物件番号：2	物件番号：3	物件番号：4
地積：298.18㎡	地積合計(3筆)：483.43㎡	地積合計(3筆)：279.87㎡	地積合計(2筆)：279.87㎡
売却価格： 4,566,000円(建物含む)	売却価格： 8,649,000円	売却価格： 6,970,000円	売却価格： 6,830,000円
所在地 阿児町立神1718番地1 地目 宅地 【地積】298.18㎡ 【建物床面積】 1階部分 34.07㎡ 2階部分 127.56㎡	所在地 浜島町浜島3148番地 外2筆 地目 宅地 【地番別地積】 3148番 373.47㎡ 3148番1 62.89㎡ 3148番2 47.07㎡	所在地 磯部町迫間426番17 外2筆 地目 雑種地 【地番別地積】 426番17 226.29㎡ 磯部町恵利原1308番7 13.23㎡ 磯部町恵利原1331番40 40.35㎡	所在地 磯部町迫間426番18 外1筆 地目 雑種地 【地番別地積】 426番18 211.14㎡ 磯部町恵利原1308番8 68.73㎡

募集期間 4月18日(月)から随時受付

募集期間は4月18日から随時受付をおこなっております。くわしくは、財政課までお問い合わせください。

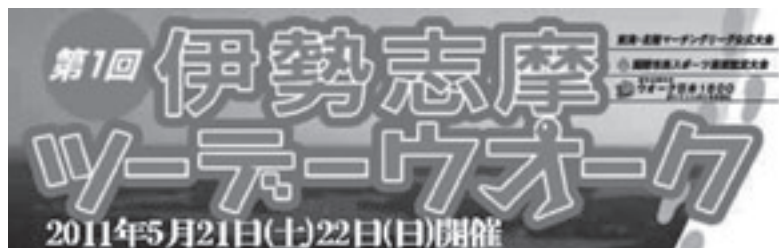
財政課 ☎ 44・0204 FAX 44・5252

ふくしの困りごと相談

福祉の困りごとを「どこへ相談したらよいかわからない」という人に、身近な場所で安心してお気軽に相談ができるように「地域ふくし総合支援センター」を設置しています。

問い合わせ

浜島支所内 ☎ 53・3002
大王支所内 ☎ 72・0256
志摩支所内 ☎ 85・6171
磯部支所内 ☎ 55・0108
ふくし総合支援室 ☎ 44・0280



参加費：事前申込 一般 /1,800 円、中・高校生 /800 円、小学生以下無料

当日申込 一般 /2,000 円、中・高校生 /1,000 円

※参加費は、参加する日数、コース、距離に関係なく同額です。

参加方法：①直接申込②郵便振替申込 ③インターネット申込
4月30日(土)当日消印・ネット受付有効

問い合わせ：伊勢志摩ツーデーウオーク事務局

☎ 44・5855

受付時間 /9 時～ 17 時(土日祝除く)



家庭児童相談

家庭児童相談室 ☎ 44・4866

相談員が、18歳未満の子どもについての相談を受け付けています。電話での相談も可能です。

と き 平日 9時～12時
13時～16時

ところ 市福祉事務所

こころの相談

保健師によるこころの健康相談を受け付けています。

相談日・会場

と き 4月26日（火）
9時～12時
13時～16時

ところ 総合保健センター

申し込み 個別相談のため、各相談日とも要予約となりますので、前日正午までに予約をお願いします。

申し込み・問い合わせ

総合保健センター ☎ 44・1100

こころの健康相談

伊勢保健福祉事務所

☎ (0596) 27・5148

FAX (0596) 27・5253

専門医や保健師によるこころの健康相談を受け付けています。

と き 4月28日（木）
13時～15時 ※要予約

ところ 県伊勢庁舎

年金事務相談

伊勢年金事務所

☎ (0596) 27・3601

FAX (0596) 28・4311

と き 4月13日（水）
10時～12時・13時～15時

ところ 市商工会館

持ち物 ①年金手帳・基礎年金番号通知書②職歴書③以前に年金加入期間を調べたことがあればその回答④年金受給者の人は年金証書または年金額改定通知書など⑤印鑑

※配偶者がいる場合、①～④は配偶者の分もご持参ください。

※代理人が相談するときは、委任状が必要です。

司法書士による無料登記相談会

津地方法務局総務課

☎ (059) 228・4191

と き 4月7日（木）・22日（金）
両日とも 13時～16時

ところ 志摩市商工会

※5月は13日・27日（金）
開催予定です。

子ども相談

家庭児童相談室 ☎ FAX 44・4866

相談員が、子育てや子どもの成長などについての相談を受け付けています。

と き 5月6日・13日・20日（金）
10時～16時 ※要予約

ところ 総合保健センター

特設人権相談

津地方法務局伊勢支局

☎ (0596)・28・6158

FAX (0596)・28・6159

人権啓発推進課

☎ 44・0227 FAX 44・5261

近隣とのトラブルや、家庭内（夫婦、親子など）の問題、相続、いじめや体罰、職場でのセクハラなどでお悩みの人は、お気軽にご相談ください。

と き 4月21日（木）
13時～15時

ところ 磯部生涯学習センター
研修室

※6月は阿児町で開設を予定しています。

常設人権相談所 電話番号統一化

津地方法務局人権擁護課

☎ (059) 228・4193

FAX (059) 213・3319

法務局・地方法務局およびその支局の常設人権相談所の電話番号が下記のとおり統一されますのでお知らせします。

（開始日は、4月18日（月）からの予定です）。なお、統一化後においても従前の電話番号に電話することも可能です。

全国統一電話番号

(0570) 003・110

（ゼロゼロみんなのひゃくとおばん）



石仏（潮仏）

御座漁港の西のはずれにある石仏は、三重外湾漁協御座出張所の裏手から100メートルほど、英虞湾口を挟んで浜島の町並みを望む位置にあって、潮仏とも呼ばれます。

ある時、村の弥吉老人という人の昼寝の夢枕に立って「我は、御座浦の地蔵尊なり、古くより因縁を感じてこの処に姿を現す至心に祈願せんものには誓って腰から下の病疾を治すべし、我海水の浸すところに在りて諸人のために常に代りて苦患を洗淨せん必ず高所に移すことなかれ」と言ったという伝えが残っています。

女性の下半身の病氣(安産祈願、生理不順、不妊等)に御霊験があると言われるところから、女性の参詣者が特に多いのが特徴ですが、海女のシーズンが始まると安全を祈願して毎朝出漁前に参る人もいます。石仏の前に立って、潮の満ち引きを見ていると、人間の生活リズムと通じるものがあり、我々の祖先はもともと海にいた生物から進化してきたというのわかるような気がしますから不思議です。

実際に訪れた人は、地蔵が刻んである「前立地蔵」を御本尊と勘違いする人も少なくないようですが、石仏の御本尊は、「前立地蔵」の後方の岩であり、満潮にはわずかに頭角を出し、干潮には全姿を現す全国的にも極めて珍しい地蔵尊です。

重要な4つの義務



※イラストは浄化槽の日実行委員会

浄化槽 重要な4つの義務

環境課



44・0228



44・5261

浄化槽は身近な生活排水処理施設です。美しい自然を守りながら快適な日常生活を実現するため正しい浄化槽の管理をしましょう。

3月のデータ

平成23年2月28日現在

人口

総数 57,212人(-67) 男 26,928人(-28) 女 30,284人(-39) 世帯数 22,709世帯(5)

()内の数字は前月との比較です。

交通

事故数/109件(11) うち人身事故16件(0)、物件93件(11) 死者数/0人 傷者数/20人

火災

件数/3件(0)

救急

出動件数/225件(3) 広域管内(南勢分署含)

()内の数字は前年との比較です。

編集・発行/志摩市 市長公室

広報しまへのご感想・ご意見をお寄せください。

〒517-0592 三重県志摩市阿児町鵜方3098-22

☎(0599) 44-0200 FAX (0599) 44-5252

🌐くわしくはWEBで 志摩市役所 検索

✉shichokoshitsu@city.shima.lg.jp



この広報は、環境に配慮するため、植物油性のインキとグリーン購入法の基準を満たす再生紙を使用しています。

新たな旅立ち 卒業おめでとう

中学校編

